

令和元年10月1日現在の保育所等利用待機児童数について

令和元年10月1日現在の待機児童数は、前年比で303人減少し、1,352人となりました。平成31年4月1日の待機児童数と比較すると、年度途中の申込みの増加により、1,306人増加となりました。

1 待機児童数等の状況

【待機児童数】

(単位:人)

区分	H30年4月	H30年10月 (ア)	H31年4月	R1年10月 (イ)	差し引き (イーア)
就学前児童数	178,905	177,762	175,243	173,729	▲ 4,033
保育所等利用申請者数(A)	67,703	71,494	69,708	73,888	2,394
利用児童数(B)	64,623	65,534	66,477	67,576	2,042
保留児童数(C)=(A)-(B)	3,080	5,960	3,231	6,312	352
横浜保育室等入所数(D)	788	1,221	774	1,217	▲ 4
横浜保育室・川崎認定保育園	338	453	219	279	▲ 174
幼稚園等預かり保育	47	62	92	107	45
事業所内保育施設・企業主導型保育事業	124	258	215	467	209
年度限定保育事業	166	165	169	168	3
一時保育等	113	283	79	196	▲ 87
育休関係(E)(*1)	458	1,056	797	1,925	869
求職活動を休止している方(F)(*2)	260	481	294	395	▲ 86
特定保育所等のみの申込者など(G)(*3)	1,511	1,547	1,320	1,423	▲ 124
待機児童数(H)=(C)-[(D)+(E)+(F)+(G)]	63	1,655	46	1,352	▲ 303

(*) 補足説明

- *1 育休関係：10月1日に育休を取得されている方のうち、復職の意思がない方
- *2 求職活動を休止している方：ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している方
- *3 特定保育所等のみの申込者など：1か所しか申し込んでいない方、2か所以上申し込んだにもかかわらず、第1希望等の保育施設しか利用を望んでいない方、申し込みをされた園や自宅の近くに利用可能で空きがある保育施設があるにも関わらず利用を希望されない方

2 待機児童の状況

(1) 年齢別の状況

- ・0～2歳の低年齢児で、全体の約98%を占めています。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R1年10月(a)	885	321	119	16	9	2	1,352
H31年4月	22	16	7	1	0	0	46
H30年10月(b)	1,105	392	117	29	11	1	1,655
H30年4月	18	33	8	1	2	1	63
増減(a-b)	▲ 220	▲ 71	2	▲ 13	▲ 2	1	▲ 303

※待機児童数のうち育児休業中の方は、R1年10月は758人、H30年10月は958人。

(2) 認可保育所等の定員外入所・定員割れの状況

- ・認可保育所及び幼保連携型認定こども園835園のうち、374園(2,751人)で定員外入所を実施しています。H31年4月比では、12園減(312人増)となっています。
- ・一方、331園(1,909人)で定員割れが生じています。H31年4月比では、57園(523人)減となっています。なお、定員割れの約80%が幼児(2～5歳児)の枠となっています。
- ・新設保育所の4・5歳児枠については、新規入所を希望される方がほとんどなく、2歳、3歳の在籍児童が進級後には埋まる枠であるため、開所後2年間は、定員割れの算定から除いています。

	定員外入所数			定員割れ人数			
	H31年4月(A)	R1年10月(B)	差引(B-A)	H31年4月(A)	R1年10月(B)	差引(B-A)	
箇所数	386園	374園	▲ 12園	388園	331園	▲ 57園	
人数	2,439人	2,751人	312人	2,432人	1,909人	▲ 523人	
内訳	乳児(0～1歳)	574人	801人	227人	817人	376人	▲ 441人
	幼児(2～5歳)	1,865人	1,950人	85人	1,615人	1,533人	▲ 82人

※利用人数には、市外のお子さんも含みます。

3 令和2年4月に向けた取組状況

(1) 受入枠の拡大

- ・令和2年4月に向けて、認可保育所22か所、認定こども園6か所、小規模保育事業19か所などの整備が見込まれています。
- ・また、既存の保育所等での定員構成の見直しや定員外の活用、余裕スペースを有効活用する年度限定保育の実施に関する調整などを、引き続き、年度末まで行います。

(2) 保育士確保

- ・保育士確保策については、採用と定着の両面の支援に取り組んでいます。
- ・採用については、保育士の宿舍借り上げに係る経費助成や学生の修学資金の貸付などのほか、11月からは民間事業者と連携して無料で利用できる就職情報サイトを立ち上げ、取組を進めています。さらに、「よこはま保育士★就労促進キャンペーン」(12月～3月)として、就職面接会及び就職支援講座の集中的開催、潜在保育士等へのPR強化など保育士の確保に取り組んでいます。
- ・定着については、利用調整における保育士の子どもの優先的取扱いなどのほか、10月からは朝夕等の児童が少ない時間帯における配置特例による保育士の負担軽減を図る取組などを進めています。

参考資料

令和元年度 区別保育所等の待機状況 —平成30年度との比較—

区名	平成30年10月1日現在						令和元年10月1日現在						待機 児童数 前年比 (人)
	就学前 児童数 (人)	施設数 (か所)	定員数 (人)	利用 児童数 (人)	保留 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	就学前 児童数 (人)	施設数 (か所)	定員数 (人)	利用 児童数 (人)	保留 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	
鶴見	15,724	86	6,105	6,431	478	122	15,337	97	6,474	6,822	448	124	2
神奈川	11,580	73	4,780	4,814	457	179	11,356	78	5,039	5,071	464	176	▲ 3
西	4,910	31	1,617	1,688	231	66	4,987	36	1,809	1,833	160	26	▲ 40
中	6,281	39	2,122	2,175	286	41	6,068	42	2,165	2,201	226	18	▲ 23
南	7,874	43	2,687	2,901	327	92	7,674	46	2,857	3,010	364	80	▲ 12
港南	8,781	55	3,688	3,441	243	35	8,653	57	3,753	3,471	255	17	▲ 18
保土ヶ谷	8,854	50	3,441	3,355	351	57	8,696	52	3,549	3,474	337	59	2
旭	10,682	60	3,712	3,808	323	66	10,416	60	3,756	3,876	378	43	▲ 23
磯子	8,043	40	2,668	2,937	332	143	7,773	44	2,856	3,058	275	98	▲ 45
金沢	8,206	42	3,029	3,202	262	67	7,964	45	3,138	3,244	245	38	▲ 29
港北	19,136	114	7,450	7,634	866	314	18,778	123	7,956	8,002	915	260	▲ 54
緑	9,037	57	3,389	3,311	229	30	8,908	59	3,490	3,396	305	35	5
青葉	15,140	80	5,000	4,900	369	93	14,620	84	5,150	5,007	424	93	0
都筑	12,096	62	4,114	3,910	241	83	11,686	63	4,193	3,929	271	67	▲ 16
戸塚	14,288	75	5,073	5,020	558	167	14,249	79	5,232	5,187	736	149	▲ 18
栄	4,949	23	1,582	1,682	115	29	4,815	24	1,593	1,679	178	6	▲ 23
泉	6,773	44	2,895	2,641	142	47	6,558	44	2,942	2,642	187	28	▲ 19
瀬谷	5,408	31	1,706	1,684	150	24	5,191	31	1,719	1,674	144	35	11
合計	177,762	1,005	65,058	65,534	5,960	1,655	173,729	1,064	67,671	67,576	6,312	1,352	▲ 303

お問合せ先

こども青少年局保育対策課 保育対策課長 片山 久也 Tel 045-671-3955